ApeosPort-IV C5575
ApeosPort-IV C4475
ApeosPort-IV C3375
ApeosPort-IV C2275
ApeosPort-IV 7080
ApeosPort-IV 6080
ApeosPort-IV 5080
ApeosPort-IV 4070
ApeosPort-IV 3070

DocuCentre-IV C5575
DocuCentre-IV C4475
DocuCentre-IV C3375
DocuCentre-IV C2275
DocuCentre-IV C2263
DocuCentre-IV 7080
DocuCentre-IV 6080
DocuCentre-IV 5080
DocuCentre-IV 4070
DocuCentre-IV 3070

追加機能説明書

ご注意
① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

本書には、次の機種をご使用されているかたを対象に、本機のソフトウエアのバージョンアップによって追加 / 変更される内容を記載しています。

- ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275
- ApeosPort-IV 7080/6080/5080
- ApeosPort-IV 4070/3070
- DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275
- DocuCentre-IV C2263
- DocuCentre-IV 7080/6080/5080
- DocuCentre-IV 4070/3070

本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、ご使用になる前に必ず、『ユーザーズガイド』および『管理者ガイド』とあわせて本書をお読みください。本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

本書に記載している以外の追加機能について、次に示す別冊のマニュアルがあります。富士ゼロックスのホームページからダウンロードして参照ください。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

■ユーザーズガイド（Google Cloud Print™ 編）

Google Cloud Print™ ウェブ印刷サービスをお使いの機械で利用する方法、および使用上の注意事項などを記載しています。

本書の表記

- 本書に記載している画面や本機のイラストは、お使いの機種によって異なる場合があります。
- 本書に記載している画面や本機のイラストは、各種オプション製品が装着された状態のものです。使用している機械の構成によっては、表示されない項目や使用できない機能があります。
- 各種ドライバーやユーティリティソフトウエアのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足

- 補足事項を記述しています。

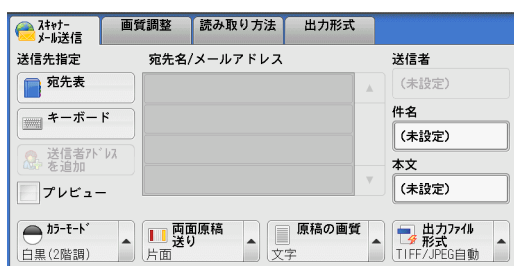
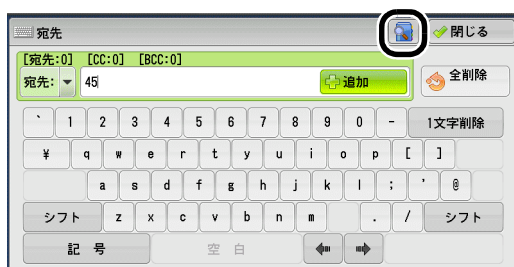
- 本文中では、次の記号を使用しています。

「　　」	• 本書内にある参照先を表しています。 • CD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表しています。
『　　』	• 参照するマニュアルを表しています。
［　　］	• 本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
〈　　〉ボタン	• 操作パネル上のハードウエアボタンを表しています。
＞	• 操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。 例：「［仕様設定 / 登録］＞［登録 / 変更］＞［ボックス登録］を選択します。」は、「［仕様設定 / 登録］を押して、［登録 / 変更］を押したあと、［ボックス登録］を選択します。」という手順を省略して記載したものです。 • 参照先は、次のように表しています。 例：「『管理者ガイド』の「5 仕様設定」＞「共通設定」＞「音の設定」を参照してください。」は、管理者ガイドの「5 章 仕様設定」内の、「共通設定」での「音の設定」を参照することを表しています。

スキャナー（メール送信）

キーボードを使用してアドレスを指定するときに、メールアドレスの一部分を入力して、該当する文字列を含んだアドレスを検索できるようになりました。

1 メニュー画面で［スキャナー（メール送信）］を押します。

2 ［キーボード］を押します。

3 メールアドレスの一部分の文字列を入力して、を押します。

検索結果が表示されます。検索結果後の操作方法は、『ユーザーズガイド』の「5 スキャン」＞「宛先表（アドレス指定する）」を参照してください。

補足

- 検索結果が表示される画面は、［宛先表タイプ 1］と［宛先表タイプ 2］の 2 種類あります。また、使用する宛先表は［本体宛先表］と［ディレクトリーサービス］があります。表示される画面は、機械管理者モードの設定によって異なります。詳しくは、『管理者ガイド』の「5 仕様設定」＞「宛先表設定」を参照してください。

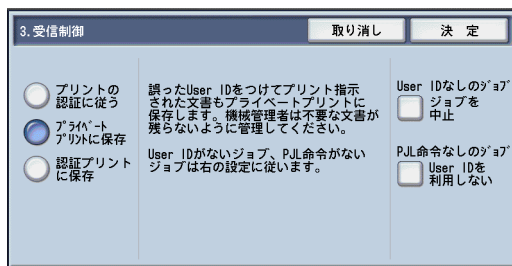
認証 / プライベートプリントの設定（受信制御）

プライベートプリントへの保存が設定されている場合、受信したプリントジョブのうち、PJL 命令が付いてないジョブをどう扱うかを設定できるようになりました。

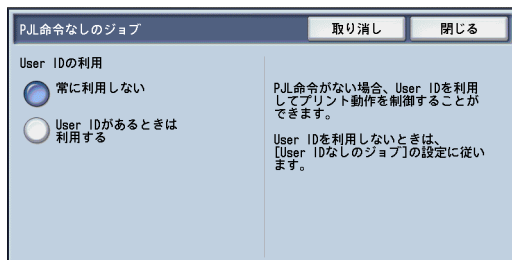
1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［認証 / セキュリティ設定］を押します。

2 ［認証の設定］の［認証 / プライベートプリントの設定］を選択します。

3 ［受信制御］を選択して、［確認 / 変更］を押します。

4 ［プライベートプリントに保存］を選択します。

5 ジョブの動作を設定します。

6 設定が終わったら、［決定］を押します。

■PJL 命令なしのジョブ

PJL 命令が付加されていないプリントジョブに対する動作を、User ID を利用して設定します。

- ［常に利用しない］を選択すると、User ID の有無にかかわらず、［User ID なしのジョブ］の設定に従います。
- ［User ID があるときは利用する］を選択すると、User ID が付加されているときの動作を設定できます。

  - ［プリント］を選択すると、ジョブをプリントします。
  - ［認証プリントに保存］を選択すると、ジョブを認証プリントに保存します。
  - ［プライベートプリントに保存］を選択すると、ジョブをプライベートプリントに保存します。
  - ［ジョブを中止］を選択すると、ジョブを削除します。

SMTP サーバー設定

SMTP サーバーの認証方式で AUTH PLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 に加えて、AUTH GSSAPI（Kerberos 指定時のみ）、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1 に対応するようになりました。

CentreWare Internet Services での追加機能

CentreWare Internet Services で文書を親展ボックスから取り出すとき、およびスキャナー（URL 送信）で送信された文書を取り出すときの動作を設定できるようになりました。

親展ボックスから、文書を PDF、DocuWorks、または XPS フォーマットで取り出す場合は、チェックボックスのチェックを外してください。プロキシを経由して取り出すことができます。

補足

- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

転写出力調整

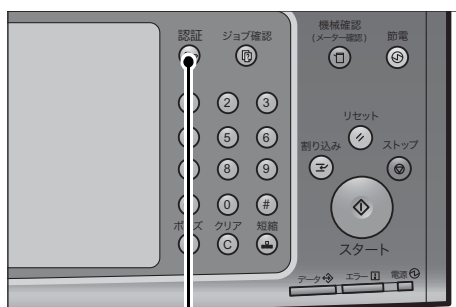
トナー画像が用紙に最適な状態で転写されない場合に、用紙種類ごとに最適な転写出力値を設定できるようになりました。

補足

・この機能は、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C2263 で操作できます。

転写出力調整の設定

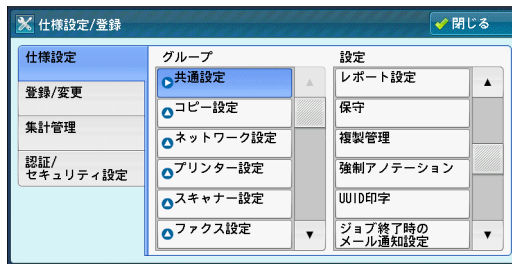
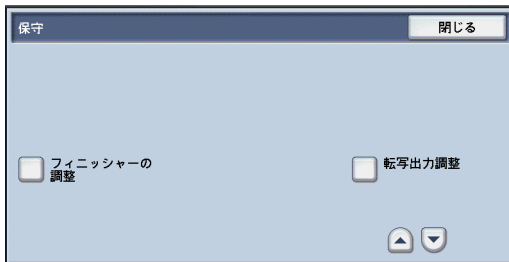
用紙種類ごとに、転写出力値を調整します。

1 〈認証〉ボタンを押します。

〈認証〉ボタン

2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、［確定］を押します。

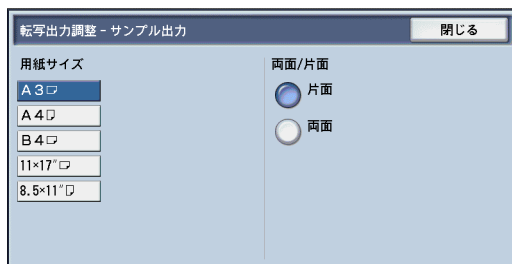
パスワードを入力する場合は、［次へ］を押し、機械管理者のパスワードを入力して［確定］を押します。

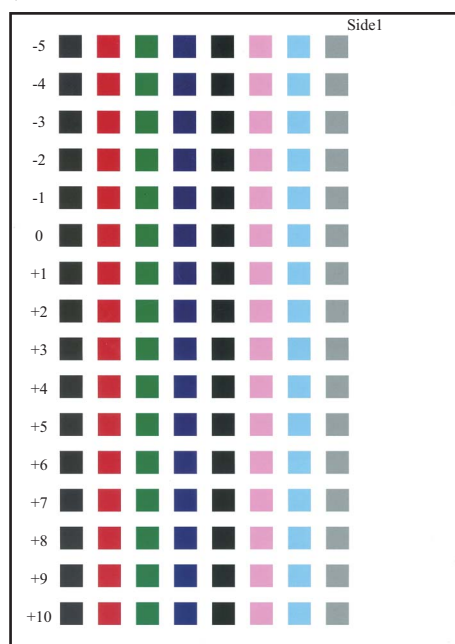
3 メニュー画面の［仕様設定 / 登録］を押します。

4 ［仕様設定］＞［共通設定］＞［保守］を押します。

5 ［転写出力調整］を押します。

6 ［用紙種類］を選択します。

7 調整する用紙種類を選択して、［閉じる］を押します。

8 ［サンプル出力］を押します。

9 手差しトレイに選択した用紙サイズの用紙をセットして、［片面］または［両面］を選択します。

10 〈スタート〉ボタンを押します。

次のようなサンプルがプリントされます。

補足

- サンプルの右上に、おもて面は「Side1」、うら面は「Side2」とプリントされます。
- 用紙サイズが A4、B4、8.5 × 11 インチの場合は、サンプルが 2 枚に分かれてプリントされます。

11 サンプルを確認して、良好な行の左端の数値（-5 ～ +10）を控えておきます。

補足

- 両面でプリントした場合は、おもて面の数値と、うら面の数値の両方を控えてください。

12 ［おもて面］と［うら面］に、手順 11 で控えた数値を指定します。

13 ［調整値設定］を押します。

以降のプリントでは、ここで設定した転写出力値が反映されます。

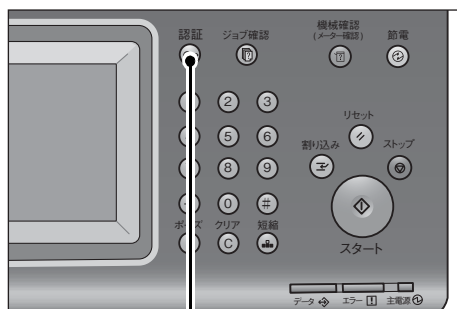
14 ［閉じる］を押します。

暖機モード

本機内の結露を防止または軽減する暖機モードに移行するかどうかを設定できるようになりました。使用環境によっては、スリープモードから復帰するときに、本機内の温度が上昇し、結露が発生する場合があります。季節の変わり目などに設定することをお勧めします。

補足

- この機能は、DocuCentre-IV C2263 で操作できます。
- お使いの製品によっては、カストマーエンジニアの設定が必要です。詳しくは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- 暖機モード設定中は、スリープモードに移行しません。

1 〈認証〉ボタンを押します。

〈認証〉ボタン

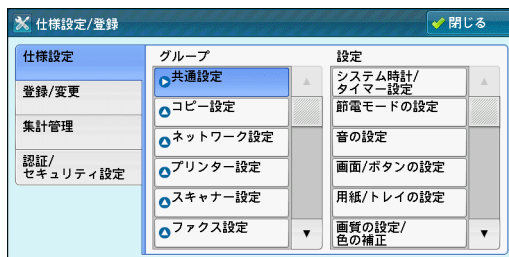
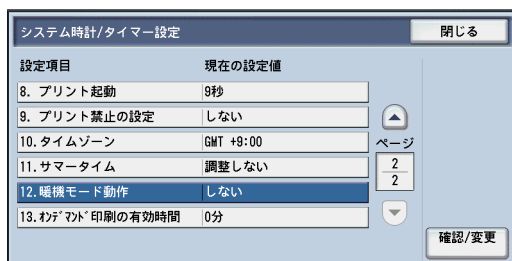
2 〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。

パスワードを入力する場合は、[次へ] を押し、機械管理者のパスワードを入力して [確定] を押します。

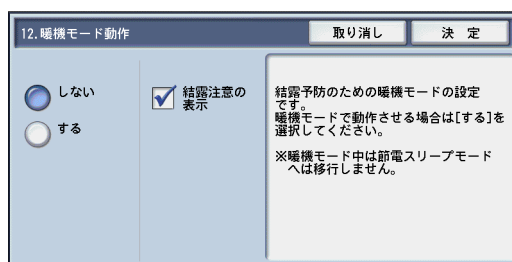
3 メニュー画面の [仕様設定 / 登録] を押します。

補足

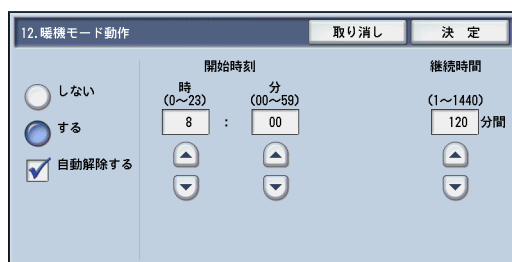
- メニュー画面が表示されていないときは、〈メニュー〉ボタンを押して、表示してください。

4 ［仕様設定］＞［共通設定］＞［システム時計 / タイマー設定］を押します。

5 ［暖機モード動作］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

補足

- ［▲］を押して前画面、［▼］を押して次画面が表示できます。

6 ［する］を押します。

補足

- ［しない］に設定すると暖機モードに移行しません。［結露注意の表示］にチェックを付けると、本機が結露発生の可能性を感知したときに、メッセージを表示してお知らせします。

7 暖機モードに移行する時間と継続時間を、［▲］［▼］を使って設定します。

■ 開始時刻

暖機モードに移行する時間を設定します。

■ 継続時間

暖機モードの開始から終了するまでの時間を、1 ～ 1440 分（1 分単位）の間で設定します。

■ **自動解除する**

チェックを付けると、結露しない状態が一定期間続いたときに、自動で暖機モード動作を［しない］に変更します。

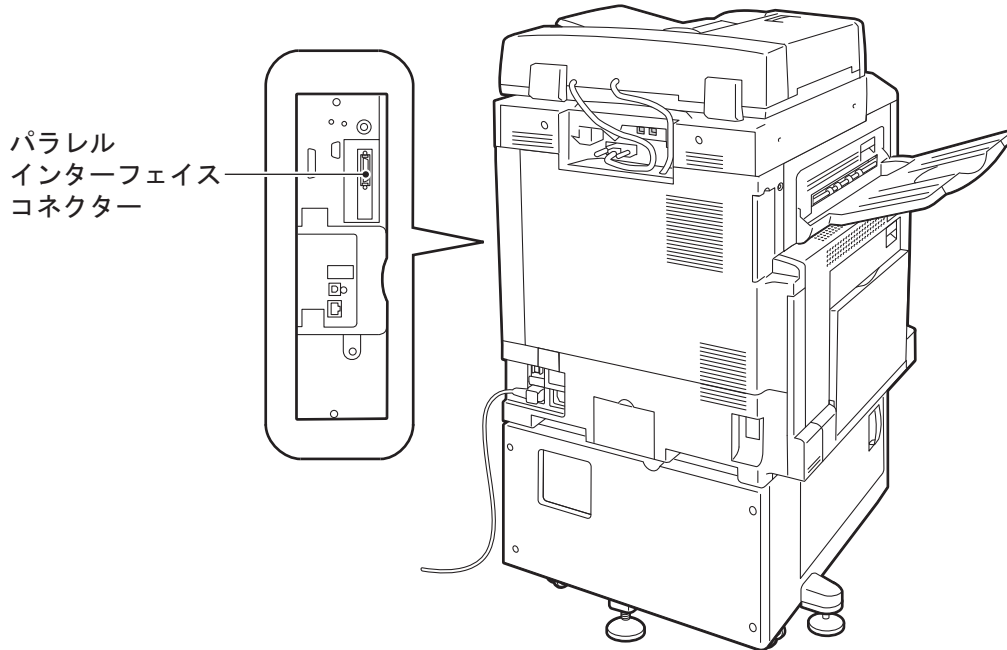
補足

- 自動解除機能により暖機モード動作の設定が［しない］に変更された場合、再び自動で［する］に戻りません。再度、暖機モードを使用する場合は、暖機モード動作を［する］に設定してください。
- 暖機モードの開始時刻に本機の電源が入っていない場合は、暖機モードに移行しません。

8 ［決定］を押します。

9 メニュー画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

パラレルポート（オプション）

本機に、パラレルインターフェイスコネクターを追加できるようになりました。
パラレルインターフェイスコネクターを追加することで、セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、コンピューターと接続できるようになります。

補足

- パラレルポートは、ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275、DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275 にオプション設定されています。

パラレルインターフェイスでの本機の設置

対応する OS（オペレーティングシステム）は、次のとおりです。

- Windows® 2000
- Windows® XP
- Windows Server® 2003
- Windows Server® 2008
- Windows Vista®
- Windows® 7

設置手順は、次のとおりです。

Step1 事前準備

本機をパラレルインターフェイスで使用する場合は、次のものが必要です。

- パラレルポート（オプション）
- パラレルインターフェイスケーブル
- ドライバー CD キット （CD-ROM）：本体に同梱

Step2 本体側の設定

本機でパラレルインターフェイスを使用するための、本体側の設定手順について説明します。

補足

- CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

1 本機のパラレルインターフェイスコネクターに、パラレルインターフェイスケーブルを接続します。

2 ［仕様設定 / 登録］画面を表示します。

1)〈認証〉ボタンを押します。

2)〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、［確定］を押します。

パスワードを入力する場合は、［次へ］を押し、機械管理者のパスワードを入力して［確定］を押します。

3) メニュー画面の［仕様設定 / 登録］を押します。

3 パラレルポートを起動します。

1)［ネットワーク設定］を押します。

2)［ポート設定］を押します。

3)［パラレル］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

4)［パラレル - ポート］を選択し、［確認 / 変更］を押します。

5)［起動］を選択し、［決定］を押します。

4 必要に応じて、次の項目を設定します。

- プリントモード指定

  受信したデータのプリント言語を設定します。

- JCL

  JCL コマンドのジョブを受け付ける場合に、有効にします。

  JCL コマンドは、どのプリンター言語にも依存しません。その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のデータのプリント言語を設定できるコマンドです。

- 自動排出時間

  プリンターにデータが送られなくなってから、用紙を自動排出するまでの時間を設定します。

- Adobe 通信プロトコル

  PostScript が動作するプリンターと、ホスト間の通信方法について定義したプロトコルを設定します。

- 双方向通信

  パラレルポートを半二重送信にするか、全二重送信にするかを設定します。

補足

- ［Adobe 通信プロトコル］は、Adobe® PostScript® 3™ キット（オプション）が装着されている場合に設定できます。
- 通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。コンピューターのOSによっては変更が必要な場合があります。

5 ［仕様設定 / 登録］画面が表示されるまで、［閉じる］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

補足

- 設定内容によっては、再起動が必要です。画面が表示されたら再起動してください。

7 機能設定リストをプリントし、パラレルポートが起動になっていることを確認します。

8 接続するコンピューターの電源を切ります。

9 コンピューターのパラレルインターフェイスに、パラレルインターフェイスケーブルを接続します。

10 コンピューターを起動します。

Step3 コンピューター側の設定

コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。

メモリー設定

プリンターの機能に関して、受信バッファ（クライアントから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量が設定できます。

1 ［仕様設定 / 登録］画面で、［プリンター設定］＞［メモリー設定］を押します。

2 ［メモリー設定］画面で［受信バッファ - パラレル］を選択します。

3 パラレルの受信バッファを設定します。

補足

・64 ～ 1024KB の範囲で 32KB 単位で設定します。

機械本体でのトラブル処置

症　状	原　因	処　置
プリントできない、またはコピーできない	本機とコンピューターをパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、コンピューターが双方向通信に対応していません。	工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、［有効］になっています。双方向通信に対応していないコンピューターに接続している場合はプリントできません。この場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を無効にしてからプリントしてください。
プリントを指示していないのに、「プリントしています」が表示される（パラレルインターフェイス使用時）	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れていませんか？	〈ジョブ確認〉ボタンを押して、プリントを中止してください。 **補足** • 本機の電源を入れるときには、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。

エラーコード

エラーコード	原　因　/　処　置
016-762	【原因】　実装されていないプリント言語が指定されました。 【処置】　［ポート設定］の［パラレル］と［USB］で［プリントモード指定］に正しいプリント言語を指定してください。